

兵庫県大岩岳周辺読図講習会について

愛知：豊川山岳会：河合 芳尚

《大岩岳周辺の地形》

変化に富んだ微地形が特徴です。小さな等高線の変化を見抜くことで、小さな尾根や沢を発見できるでしょう。また、隠れた小ピークは尾根と尾根の分岐に発生します。隠れた小コルは、沢と沢との挟まれた場所に発生します。

最初は、何が何だか分からない地形も、順序を守って講習すると分かるようになります。では、順序とは…。その前に、初めての方には、地図を見る2つのアイテムを授けたいと思います。

《アイテム1》

コンパスの使い方は、約1時間みっちり、三角形、四角形…とコンパス123の練習ををしっかり行ってください。進行方向が分かるようになると心強くなります。

《アイテム2》

普段歩測はほとんどしないでしょう。しかし、今回の講習は、距離感を大切にしたいと思います。なぜなら、同じ地形がどんどん現れてきて、途中で訳が分からなくなるからです。

【行動をする前に】

次の予測をしてから、行動する。すべての基本ですが、この基本を忘れて時に、道迷いが発生します。今回は、この予測を必ずしてから進むようにしてください。

【講習会の進め方】

最初は、ポイントの説明を見ながら予測を立てる方法を身につけてください。次に、ポイントの説明を見ないで、自分たちで予測を立ててください。この考える力が、向上につながります。また、最初は、全体で行動しますが、慣れてきたら、2～3人の小グループに分けてください。トップを順番で交代し、トップが次のポイントに行って止まるようにしてください。

【スマホ・GPSの利用】

微地形でエリアが狭いので、どこまで利用できるかわかりませんが、持っている方はどんどん利用してください。

【リーダーの心掛けること】

集中力は持続しません。適度に休憩し講習会を進めてください。そして、教えるのではなく、発見する楽しさを伝えるように心がけてください。

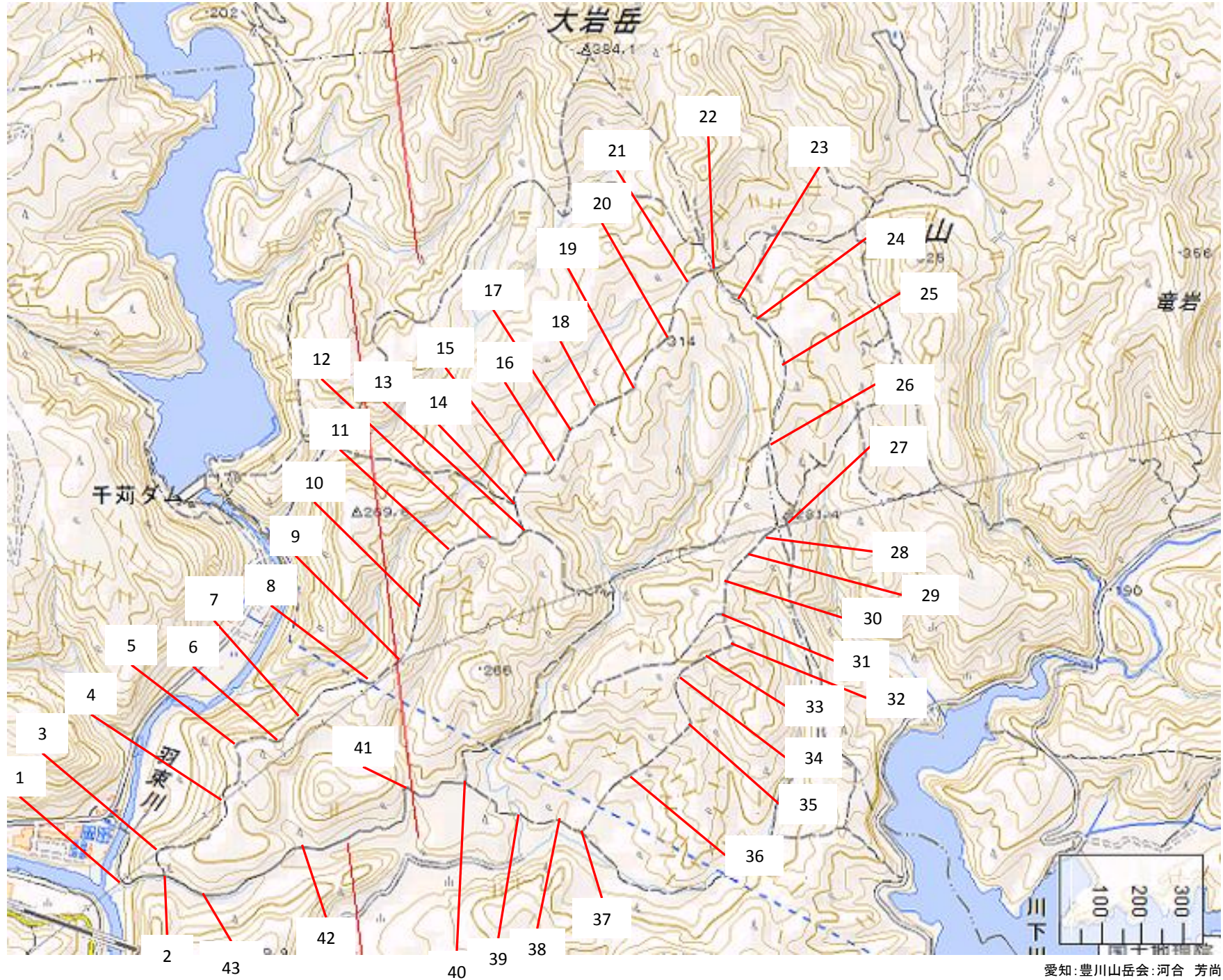
【準備するもの】

- ①ポイント(ムカデ地図)A4判
- ②ポイント(ムカデ地図)A3判(分かりやすいので拡大コピーしてください)
- ③ポイント説明
- ④コンパスで進行方向を確かめる場所と尾根沢
- ⑤白地図
- ⑥コンパス
- ⑦スマホに地図が利用できる方は、利用してください。GPSがある方も同じ。

【その他】

現地では、コンパス123を練習する場所が確保できない恐れがあります。事前に行っておくことをお勧めします。それができない場合は、林道の少し広いところで、三角形の1辺を3歩とか5歩と短くしてください。また、事前に豊川山岳会HPの「読図とナビゲーション」を一読をしていただけると、より講習会の充実が図れると思います。会員に呼び掛けていただければ幸いです。

兵庫県大岩岳周辺読図講習会について

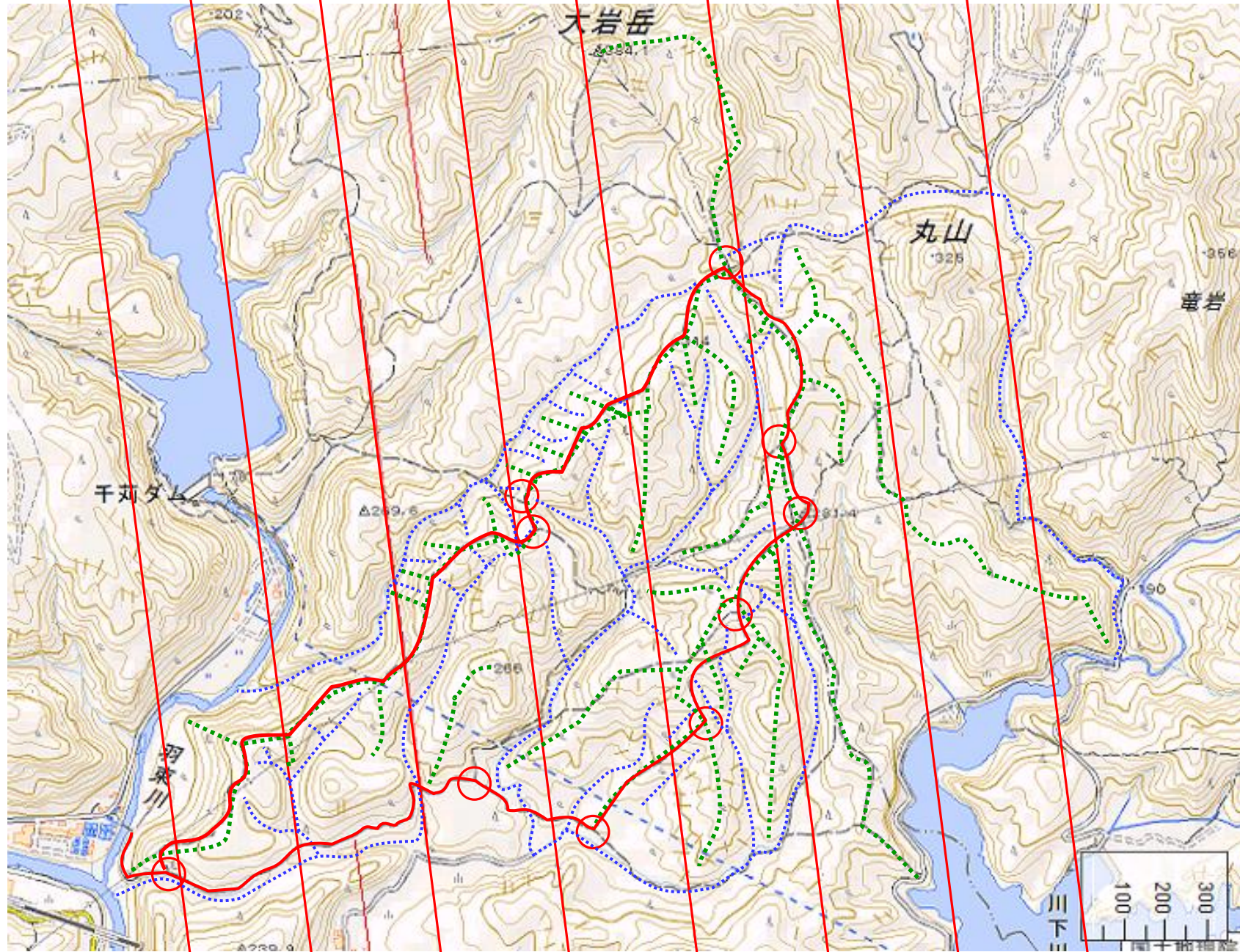


兵庫県大岩岳周辺読図講習会について

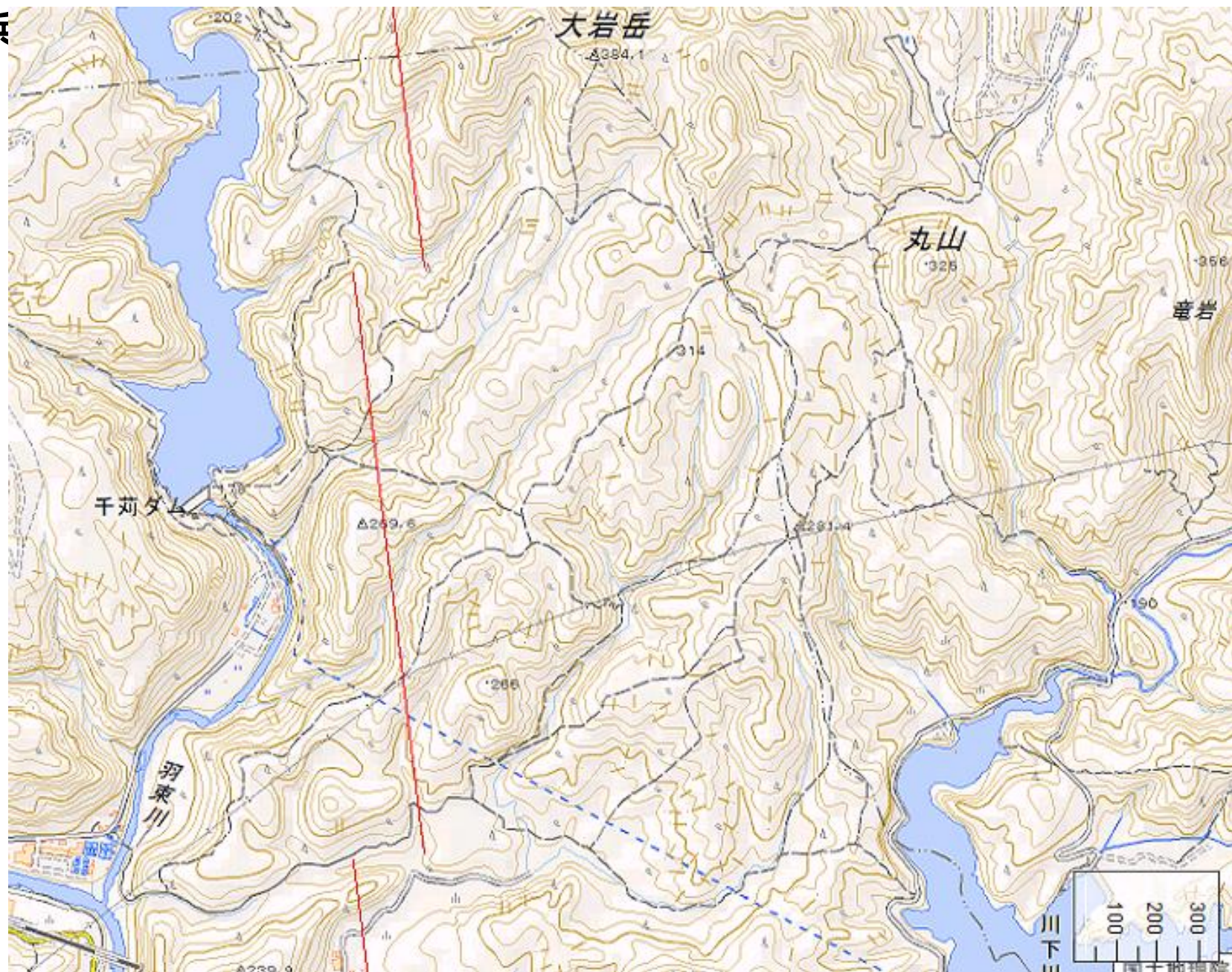
番号	ポイントの位置説明	次のポイントまでの予測の立て方
1	道の曲がり、送電線が頭上にあり、尾根末端	読図で大切なのは行動する前の予測が大切。1番では2番を予測してから歩こう。ここでの予測は、2番の登山口までは約110m(複歩で約80歩)。1番から林道を歩測して登山道が出てくるか確かめよう。
2	登山道入口	2番から3番へは斜面を直登し、3番は尾根にでたところ。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
3	尾根にでたところ	ここから4番の送電線と道との交点までは、トラバース道で尾根の中心からやや外れて道は付いている。羽束川方面は急斜面になっている。
4	送電線と道との交点	5番の特徴は道の曲がり、かつ、北西に小尾根が派生。道は、平らで広い尾根の端を通っている。
5	道の曲がり。北西に小尾根が派生	6番は小ピーク。道の曲がり。距離は約100m複歩70歩。
6	小ピーク。道の曲がり	7番は等高線が細くなっているの、隠れ小コルになっている。距離は約100m複歩70歩。
7	隠れ小コル	8番は送電線と道との交点。距離は約250m複歩180歩。
8	送電線と道との交点	9番は送電線と道と離れるところ。距離は約100m複歩70歩。
9	送電線と道と離れるところ	10番は隠れ小ピーク。距離は約130m複歩90歩。
10	隠れ小ピーク	11番は隠れ小ピーク。距離は約150m複歩100歩。
11	隠れ小ピーク	12番は隠れ小ピーク。距離は約120m複歩85歩。
12	隠れ小ピーク	13番は道の分岐。距離は約100m複歩70歩。
13	道の分岐	14番は道の分岐。距離は約100m複歩70歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
14	道の分岐	15番は道の曲がり。距離は約100m複歩70歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
15	道の曲がり	16番は隠れ小ピーク。距離は約100m複歩70歩。
16	隠れ小ピーク	17番は隠れ小ピーク。距離は約100m複歩70歩。
17	隠れ小ピーク	18番は小尾根分岐。距離は約100m複歩70歩。
18	小尾根分岐	19番は次の小尾根。一旦18番尾根から外れる(少し下って小さい沢にでた次の尾根に登る)。距離は約100m複歩70歩。
19	次の小尾根	20番は314m小ピーク。距離は約150m複歩100歩。
20	314m小ピーク	21番は隠れ小コル。距離は約150m複歩100歩。
21	隠れ小コル	22番は道の分岐。距離は約150m複歩100歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
22	道の分岐	23番はピーク。距離は約120m複歩85歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
23	ピーク	24番は隠れ小コル。北側からと南側から沢が迫っているの、少し低くなっている。距離は約150m複歩100歩。
24	隠れ小コル	25番は広いピーク。距離は約120m複歩85歩。
25	広いピーク	26番は道の分岐。距離は約200m複歩140歩。
26	道の分岐	27番は道の分岐。送電線と道との分岐。距離は約220m複歩150歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
27	道の分岐	28番は隠れ小コル。高低差は1~2mぐらいだろうか？距離は約80m複歩50歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
28	隠れ小コル	29番は広い隠れ小ピーク(高低差少ないのでよくわからないかも)。距離は約80m複歩50歩。
29	広い隠れ小ピーク	30番はコル。距離は約100m複歩70歩。
30	コル	31番は道の分岐。広い小ピークの端。距離は約100m複歩70歩。
31	道の分岐。広い小ピークの端	32番は道の曲がり。距離は約120m複歩85歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
32	道の曲がり	33番は沢。ここから下りになる。距離は約80m複歩50歩。 道の曲がり、コンパスで進行方向を確かめよう。
33	沢	34番は沢で道の曲がり。ここから一旦登り小尾根に出た後また少し下る。距離は約100m複歩70歩。
34	沢で道の曲がり	35番は道の曲がり、隠れ小ピーク(1~2m?)。距離は約120m複歩85歩。 道の曲がり、コンパスで進行方向を確かめよう。
35	道の曲がり、隠れ小ピーク	36番は小尾根。広い斜面を下ってきたが、小尾根が現れた。距離は約220m複歩150歩。
36	小尾根	37番は道の分岐。距離は約220m複歩150歩。 道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
37	道の分岐	38番は沢と道の分岐。距離は約80m複歩50歩。
38	沢と道の分岐	39番は沢と道の分岐。距離は約100m複歩70歩。
39	沢と道の分岐	40番は道の分岐。距離は約150m複歩100歩。
40	道の分岐	41番は沢と道の分岐。道の曲がり。距離は約150m複歩100歩。道の分岐は、コンパスで進行方向を確かめよう。
41	沢と道の分岐	42番は沢と道の分岐。
42	沢と道の分岐	43番は道の曲がり。緩やかな道の曲がり、コンパスを使って確かめよう。
43	道の曲がり	次は、2番の登山口です。ご苦労様でした。

※複歩で100mは約70歩です。

兵庫県大岩岳周辺読図講習会について

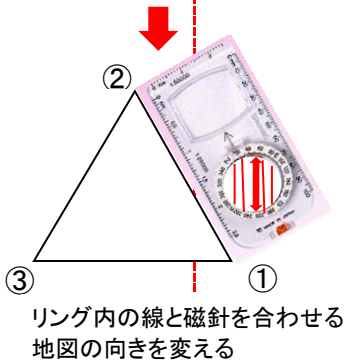
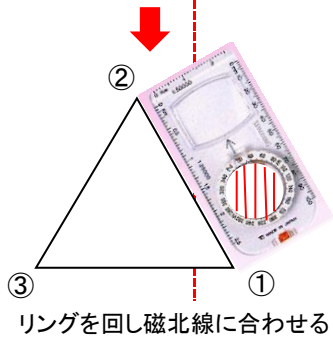
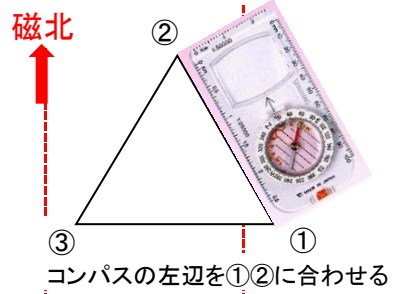


兵



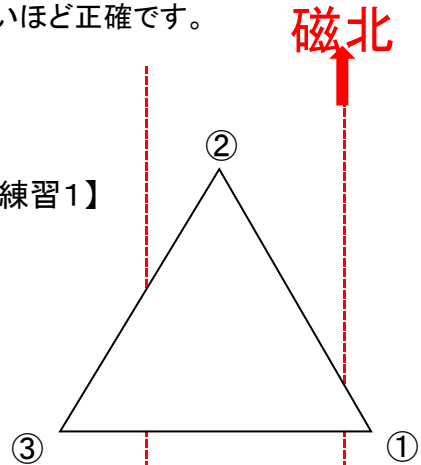
【練習3】コンパスの使い方(コンパス1・2・3) 《初級編》

- ① 自分の立っている場所に目印(小石等)を置きます。
- ② 順番に進みます。
- ③ 進む距離は、10歩進んでください。
- ④ 元の①へ戻り、目印とのズレが小さいほど正確です。

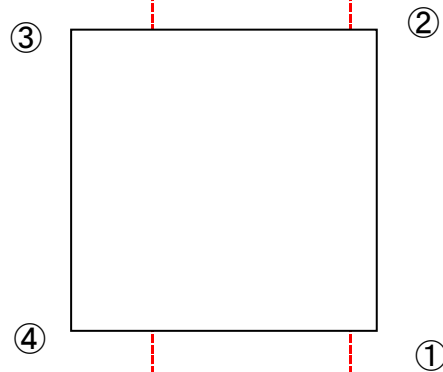


①②間の辺の長さを図り、
歩測し、進む

【練習1】

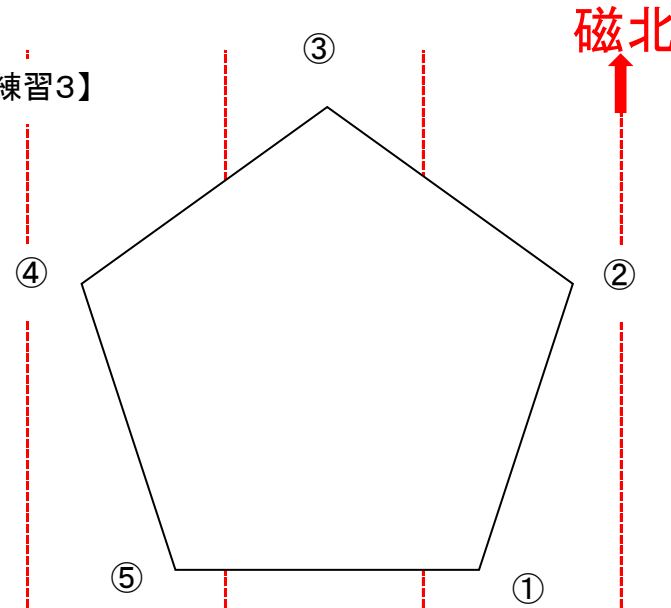


【練習2】



磁北

【練習3】



【練習4】

